

平成 25 年度 東海・東南海・南海地震対策中部圏戦略会議 活動計画における各機関の取り組み状況

資料 4－1

平成 25 年度活動計画 項目	H25 年度に構成機関が実施した活動内容
◎「優先的に取り組む連携課題（10 課題）」の継続推進	・優先的に取り組む連携課題（10 課題）のアクションプランについて、平成 25 年度の成果についてフォローアップを実施するとともに、次年度以降も引き続き推進することを確認。
◎南海トラフ巨大地震対策中部ブロック協議会広域連携防災訓練の実施	・平成 25 年 8 月 31 日（土）、9 月 1 日（日）に南海トラフ巨大地震対策中部ブロック協議会広域連携防災訓練を開催し、約 292 機関（約 15,000 名）が参加。
◎「優先的に取り組む連携課題（10 課題）」の相互連携推進	・『優先的に取り組む連携課題（10 課題）』の相互連携の推進を推進するため、「1．災害に強いものづくり中部の構築」、「2．災害に強い物流システムの構築」、「7．防災拠点のネットワーク形成に向けた検討」、「8．道路啓開・航路啓開等のオペレーション計画の策定」が相互に連携し、迅速な応急対策、早期復旧に資する物流ネットワークを構築について検討を実施。
◎防災教育における新たな取り組み ・個別訓練タイムトライアル ・シェイクアウトなどの実施	・シェイクアウト訓練を実施。 ・防災に関する内部向けの研修や訓練等の実施。
◎UTMグリッド地図の利用促進 ・広域防災訓練での活用 ・訓練を通じた課題の抽出	・防災関係の会議においてグリッド地図の利用方法を説明。 ・防災訓練においてグリッド地図を活用。 ・台風 26 号により被災した伊豆大島支援の際にグリッド地図を活用。 ・地理院地図等の運用会議を開催し、操作習熟と関係機関の統一事項を決定
◎民間企業・NPO等との連携推進 ・防災意識啓発イベント ・地震防災訓練等の連携推進	・民間企業やNPO 法人と災害時の協力に関する協定を締結。 ・防災意識啓発を目的として、イベント参加や展示等を実施。 ・大学・高校・特別支援学校等を対象に地震体験車の乗車体験を実施。 ・合同防災訓練において、一般社団との連携訓練を実施。
◎救援・救助に関する関係機関の連携 ・広域医療搬送訓練を含めた関係機関の連携方策検討	・広域医療搬送訓練や広域緊急援助隊総合訓練を実施。 ・自衛隊や自治体と連携した共同防災訓練を実施。
◎中部ライフガード TEC2013 の開催	・平成 25 年 5 月 24 日、25 日に「防災・減災・BCP」をテーマとして、計 195 社・団体が講演会・セミナー・パネル展示等を実施し、計 17,365 人が来場。